



ヨーロッパ文化総合研究所公開講演会

20世紀イギリス・アメリカにおける人の移動

2015年6月27日(土) 13:30~17:30

土樋キャンパス 4号館2階422教室 **申込不要**(直接会場にお越しください)



近年、グローバル化の進展により、モノやお金だけではなく、人の移動もさらに活発化しています。ある文化的背景を持つ人々が、彼らとは全く別の文化を持つ地域に移動する際、彼らを受け入れるホスト社会では、相互交流による新しい文化が開くこともあれば、両者の間に軋轢が生じ、何らかの対応を迫られることもあります。このような人の移動に伴う問題は、現在人口減少に悩む日本においても、無視できない課題となっています。そこで、本講演では、多文化社会、あるいは多民族国家と形容されるイギリスとアメリカで、20世紀に生じた事例を取り上げ、人の移動がもたらす様々な問題について考えたいと思います。

講師紹介

「他者」としての外国人

—イギリスの歴史研究から日本の現状分析へ—

齋藤 翔太郎(さいとう しょうたろう)

東京大学大学院経済学研究科博士課程

1970年代前半におけるイギリスの「移民問題」

原田 桃子(はらだ ももこ)

本学大学院文学研究科博士後期課程

短期移民労働者の権利保障をめぐる国際政治

—1940-50年代の米国・メキシコ政府間協定を中心に—

戸田山 祐(とだやまたすく)

東京大学大学院総合文化研究科教務補佐員



東北学院大学
土樋キャンパス案内図

主催:東北学院大学ヨーロッパ文化総合研究所
問い合わせ先:東北学院大学ヨーロッパ文化総合研究所
Tel. 022-264-6379、E-mail. europe@mail.tohoku-gakuin.ac.jp